

第3学年 体育科学習指導案

令和5年1月26日(木) 第5校時
大田区立松仙小学校 3年4組 32名

校内研究のテーマ

友達と高め合う児童の育成

～できた・見方・伝え方の学習を通して～

1 単元名

体づくり運動領域 多様な動きをつくる運動 用具を操作する運動
～ 見つけよう！やってみよう！ぴよんぴよんランド！ ～

2 単元の目標及び単元の評価規準

観点	知識・運動	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の目標	多様な動きをつくる運動の楽しさや喜びを味わい、その行いを理解するとともに、体のバランスをとる動き、用具を操作する等を行い、それらを組み合わせて運動することができるようにする。	自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場の用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養うことができるようにする。
評価の視点を整理	<ul style="list-style-type: none"> 短なわを使って、多様な動きをつくる運動の行い方を知っている。(知識) 体のバランスや移動、用具の操作とともに、それらを組み合わせた動きができる。(運動) 	<ul style="list-style-type: none"> 友達と自分の運動の行い方を比べ、課題を見付けている。(思考・判断) 人数などの条件を変え、新たな運動の行い方を選んだり、自己の気付きを発表したり、大切だと感じたことを友達に教えたりしている。(表現) 	<ul style="list-style-type: none"> 運動に進んで取り組もうとしている。(愛好的態度) 互いの動きを見合ったり話し合ったりする際に、友達の考えや取組を認めたり、尊重したりしようとしている。(公正・協力) 場や用具の安全に気をつけて運動している。(健康・安全)
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な動きをつくる運動の行い方や動きを知っている。(知識) ② 基本的な動きやそれらを組み合わせた動きができる。(運動) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な動きをつくる運動の基本的な動きの組み合わせを選ぶことができる。(思考・判断) ② 多様な動きをつくる運動について友達の良い動きを見付け自分の動きに取り入れている。(思考・判断) ③ 友達の良い動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えることができる。(表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。(愛好的態度) ② 友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。(公正・協力) ③ 活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。(健康・安全)

3 単元について

○学習指導要領の位置づけ

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年7月告示)体育[第3学年及び第4学年]の内容 A「体づくり運動」の

- A 体づくり運動 体づくり運動について、次の事項を身に付けることができるように指導する。
- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすること。
- イ 多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせること。
- (2) 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場の安全に気を付けてりすること。

を受けて設定した。

体づくり運動は、「体ほぐしの運動」及び「多様な動きをつくる運動」で構成され、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、低学年で学習した様々な基本的な動きに加えて、更に多様な動きを身に付けたり、動きの質を高めたりする運動である。また、運動を楽しく行うために、友達の動きを見たり、話し合ったりしながら、自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫し、それを友達に伝えるとともに、運動に進んで取り組み、きまりを守って誰とでも仲よく運動をし、友達の考えを認めることができるようにする。

本単元では、短なわを使って色々な動きを知ったり、新たに見付けたりして誰でもできる多様な動きをつくる学習を行う。第1時で、短なわを使った動きを知る、第2時では、前時に学んだ動きを試す、第3・4時では、動きを組み合わせる試し、新たな動きを見付ける流れにした。児童が主体的に動きを発見していくが、考えられる短なわを使った動きは、「姿勢」「人数」「方向」「リズム」「移動」である。ちょっと練習すれば誰もがができるような動きを見付けられるよう教師が声掛けをし、前とび、あやとび、二重とびなどの技の技術を高めることをねらいとはせず、動きを広げることをねらいとして学習を進める。

運動の特性

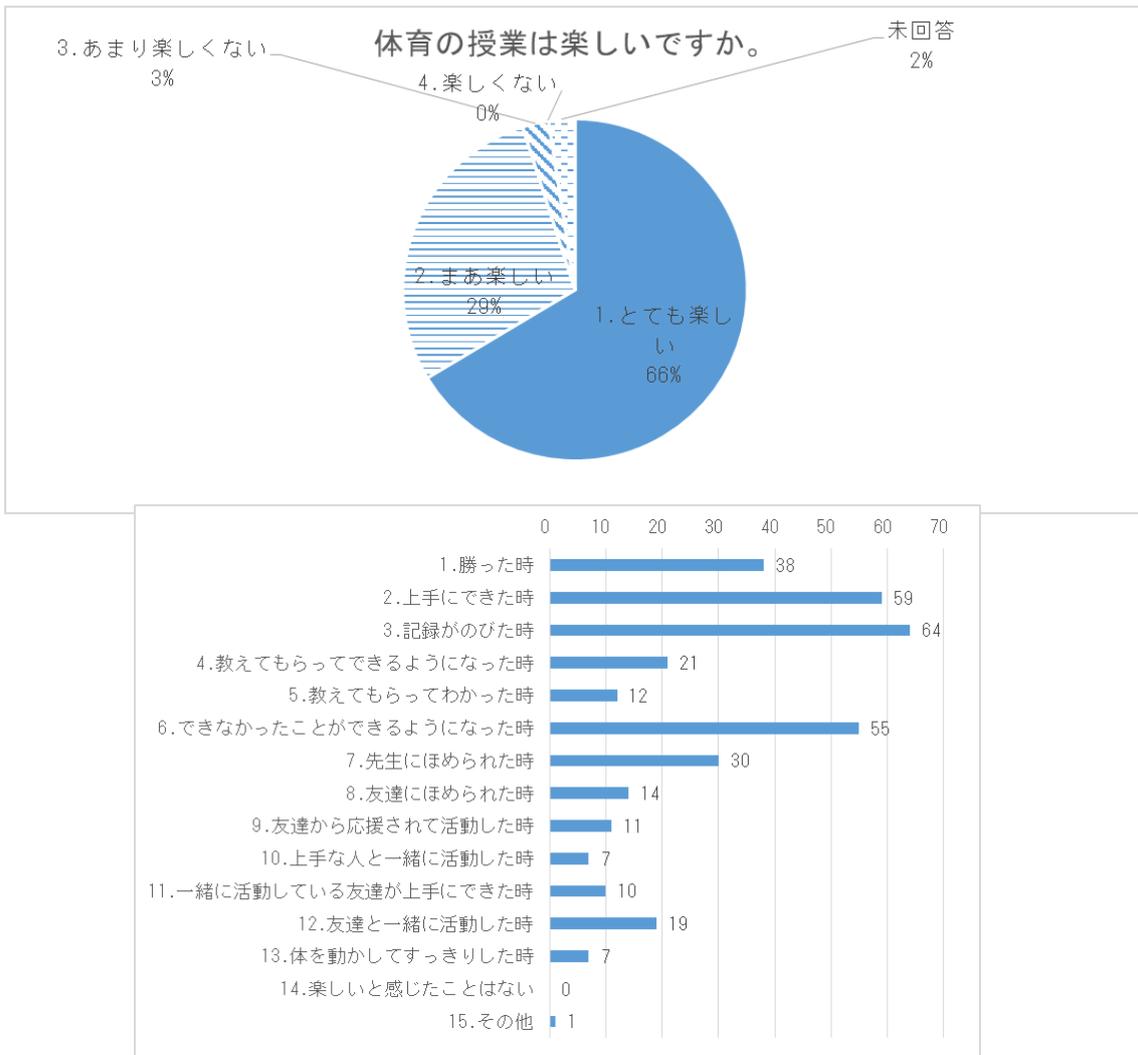
【一般的特性】

- ・つかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、跳び越すなど用具を操作する運動である。
- ・易しい動きを習得したり、リズム・速さ・方向・人数をかえる、移動するなどの基本的な動きを組み合わせたりすることができる運動である。

【児童から見た特性】

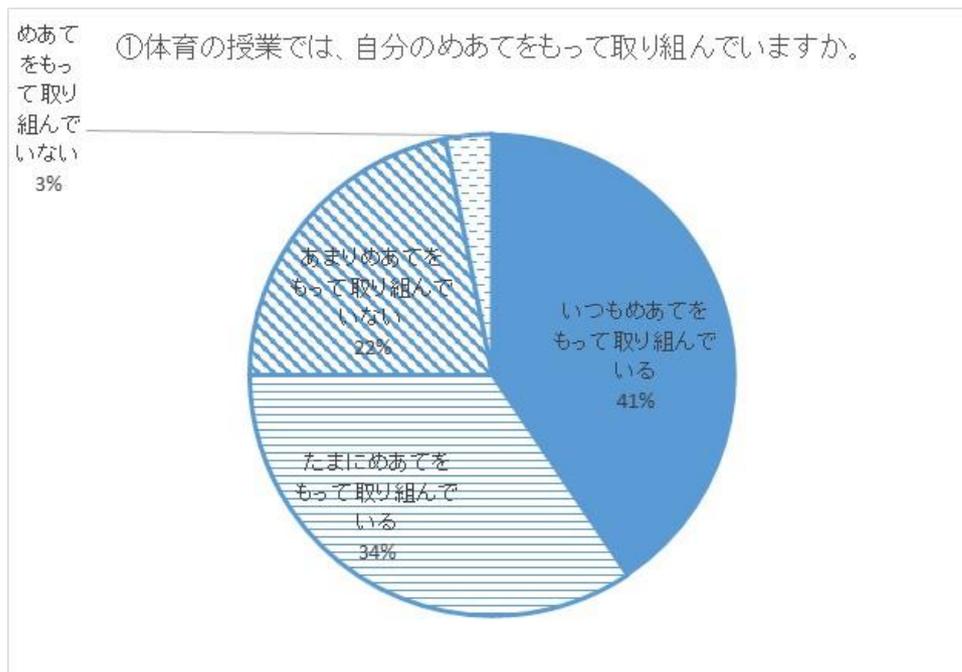
- ・身近な遊具として用いられてきたため、児童にとって取り組みやすい運動である。
- ・短なわの主な運動として前跳びや片足跳びが挙げられるが、ほかにもリズムや速さを変えるなど、多様な動きをすることで楽しさを味わうことのできる運動である。
- ・姿勢、人数、方向、速さ、移動など動きを工夫することにも着目させることで、一人だけでなく友達と一緒に取り組むことができ、人と関わり合うことの楽しさを感じることができる運動である。

○児童の実態

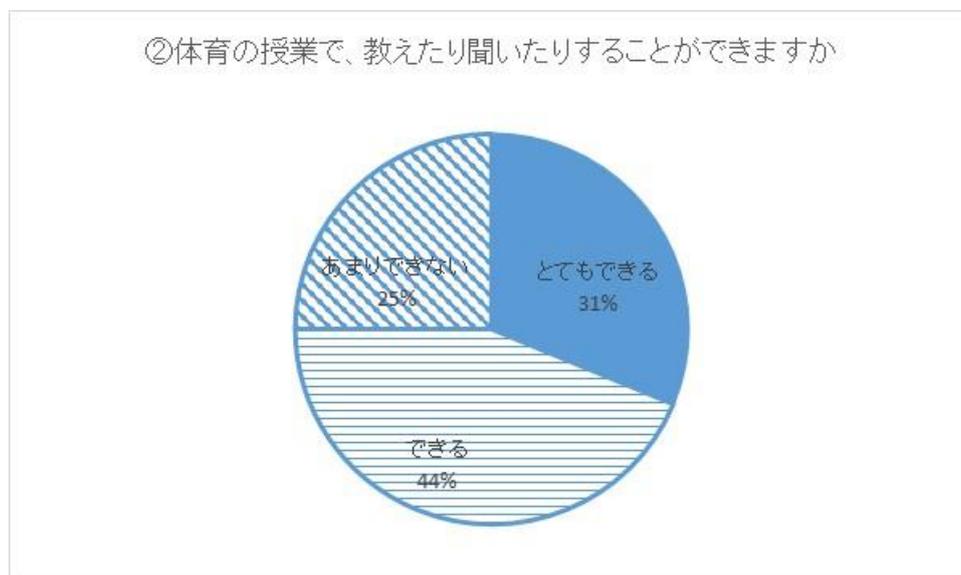


3年4組の児童は、男女共に仲が良く、休み時間になると校庭や屋上で鬼遊びをして仲よく遊ぶ姿が見られる。また、体育の学習を楽しみにしている児童も多く、活動に夢中になって取り組む姿が見られる。これまでの学習でペアグループでの活動を通して、友達と関わりながら学習を進めていた。友達と学び合いながら、できないことに対しても一生懸命取り組もうとする意欲が見られる。運動することを苦手としている児童もいる中で、3年生全員を対象としたアンケートでは、約90%の児童が体育の授業を楽しんでいることが分かった。特に学習の中で「記録が伸びた」、「できた」と実感できることが児童の「楽しい」につながっている。本単元の学習では、誰にでもできるような簡単な動きから取り組み、さらに動きを工夫したり難しい動きに挑戦したりと、児童一人一人がめあてをもち、行いたい動きを行ったり、できる動きを増やしたりしていくことで、運動が「楽しい」と実感できるようにしていく。

3年4組の児童を対象とした事前アンケートの結果(11月上旬実施)は以下の通りである。



①の結果から、自分のめあてをもって取り組んでいる児童が75%いることが分かる。普段の体育の学習も児童一人一人が思いや願いをもって取り組んでいることが分かる。この結果を受けて、今回の授業では、誰にでもできるような簡単な動きをもとに、児童が自分のめあてをもち、取り組みたい動きに挑戦することで、できる動きを増やしていきたい。さらに、自分のめあてをもちない児童にも、「取り組んでみたい動き」を見付けられるような手立てを取り入れることで児童が主体的に取り組めるようにしていきたい。



③の結果から友達に運動の仕方を教えたり、聞いたりすることができる児童が約75%いることが分かった。本研究のテーマが「友達と高め合う児童の育成」であることから、児童が関わり合いを感じられるような活動を取り入れて授業を進めていく。学習活動の中で友達と動きを見つける時間や、見つけた動きを伝える時間など、友達と関わり合う時間を設定し、関わり合って運動する喜びを味わわせたい。

○テーマに迫る手立て

<p>児童が「できた」と感じることで きるための工夫</p>	<p>補助運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きとなる「姿勢」「人数」「方向」「リズム」「移動」を意識した運動に取り組むことで、主運動での動きの組み合わせ方を意識できるようにする。 <p>単元の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知る学習段階（第1時）では、児童が一人で短なわを使った動きを見付ける時間を確保する。短なわの基本となる動きのこつをおさえ、その上で友達の良い動きや、挑戦してみたい動きを見合い（みつけタイム）、実際に取り組んでみる。導入段階で、互いの動きを共有することで、苦手意識を軽減し、学級全体で経験や技能の差を補っていく。 <p>単元の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1時は主に一人で短なわを使った動きに取り組み、第2時では友達の良い動きを取り入れながら、やってみたい動きを見付けるようにする。第3・4時では動きの工夫や困っていることについてグループで話し合い、やってみたい動きを広げ、深めていくようにする。 <p>見付けた動き・運動の揭示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短なわを使った多様な動きやこつを「姿勢」「人数」「方向」「リズム」「移動」の5種類ごとに分けて揭示し、共有する。見付けた動きは、児童自身でオリジナルの名前を付けることで、意欲的に動きを組み合わせたり、新しい動きを見付けたりできるようにする。（例：互いにタイミングを合わせながら跳ぶ→「シンクロ跳び」、体の向きを変えながら、跳ぶ→「くるくる跳び」など）また、揭示した動きの名前は学級共通のキーワードとして、日常的に用いるようにする。 <p>学習カード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の状況や変容を児童一人一人が確認するために、挑戦した動きを学習カードに記入し、振り返りができるようにする。また、次の時間はどんな活動をしていきたいのか、児童が主体的に表現できるようにする。
<p>自他の運動の見方を知るための工夫</p>	<p>見合う場の設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみタイム①」では、児童一人一人が挑戦したい動きを考える。 ・「やってみタイム②」では、「みつけタイム」を生かして、友達の動きを取り入れ、「ちょっとがんばればできそうな動き」を考えることに取り組む。 ・「見つけタイム」では、全体指導の中で教師が意図的に児童の動きを取り上げて、動きの工夫や組み合わせ方を称賛したり、友達の良い動きや工夫を見付けたりすることで、児童の考えを広げるヒントにしたり、自分の動きに取り入れようとしたりする。 <p>グループ編成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はなしタイム」でのグループは4人1グループで編成を行う。自分が見付けた運動を伝えたり、運動の仕方を教え合ったりできるように、教師で意図的にグループ編成を行う。 <p>言葉がけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な動きである「姿勢」「人数」「方向」「リズム」「移動」などに着目しながら意図的に言葉がけを行い、児童がこれらの視点に絞って互いに動きを共有できるようにする。 ・第2時以降は、「～しながら、～する。」といった動きを組み合わせている児童を称賛することで、動きの組み合わせ方について価値づけていく。 <p>場の工夫</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の初めは、教師を中心にして大きな一重円の形で個人やグループで自由に動きを見付けるようにする。事前に間隔をとるように指導を行う。また、学習後半は安全面を考慮して、移動するゾーン、移動しないゾーンといった2つの場を設定し、動きを見付け、広げることができるようにする。 <div style="text-align: center;">  </div>
<p>友達と運動の様子を伝え合うための工夫</p>	<p>テーマ設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短なわを使った多様な動きを広げるために、短なわの動きを楽しむ遊園地「ぴよんぴよんランド」というテーマを設定した。「短なわを使った跳び方をたくさん見付けて楽しむことができるオリジナルの遊園地をつくる」ことを目的とし、技能ではなく、動きを広げていくことを意識し、活動できるようにする。動きを見付け、広げる際に「だれでもできる」「協力」「安全・安心」の3つの合言葉を掲げ、安全面に配慮し、学習できるようにする。 <p>伝え合う場の設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はなしタイム」では、グループの話し合いを通して、①どのような動きを見付けたのか、②動きを見付ける上で困っていることはないかななどを伝え合うことで、新しい動きの組み合わせを考えたり、動きを広げたりする。

4 単元の指導と評価の計画（全4時間）

時間	1	2	3（本時）	4
学習段階	知る （個人）	つかむ （個人→人数）	深める （人数）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 短なわを使って、多様な動きをつくる運動の行い方や動きを知ることができるようにする。知 短なわを使った多様な動きをつくる運動に進んで取り組むことができるようにする。国 	<ul style="list-style-type: none"> 短なわを使って多様な動きをつくる運動の友達の良い動き方を見付け、自分の動きに取り入れることができるようにする。国 活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめられるようにする。国 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の良い動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。国 互いの動きを見合ったり話し合ったりする際に、仲間の考えや取り組みを認めることができるようにする。国 	<ul style="list-style-type: none"> 短なわを使って、基本的な動きを組み合わせた動きができるようにする。国 短なわを使って多様な動きをつくる運動の基本的な動きの組み合わせを選ぶことができるようにする。国
学習活動	1 前時までの振り返り・めあての確認			
	短なわを使ったいろいろな動きをやってみよう	短なわを使ったいろいろな動きを見つけよう	短なわを使ったいろいろな動きを伝えよう	短なわを使ったいろいろな動きを増やそう
	2 用具の準備 3 準備運動・補助運動			
	4 やってみタイム① ○短なわを使った運動（1人で行う） 5 みつけタイム ○全体に向けて、動きを紹介するとともに、短なわの基本となるこつをおさえる。 6 やってみタイム② ○友達の動きを見て、取り入れる。 ○動きを工夫する。 7 整理運動 8 振り返り（クラス全体・個人） 9 片付け	4 やってみタイム① ○短なわを使った運動 5 みつけタイム① ○動きを増やすために、友達の新しい動きを見付けに行く。 ○全体に向けて、動きを紹介する。 6 やってみタイム② ○友達の動きを見て、取り入れる。 ○動きを工夫する。 7 整理運動 8 振り返り（クラス全体・個人） 9 片付け	4 やってみタイム① ○短なわを使った運動 5 みつけタイム ○全体に向けて、動きを紹介する。 6 やってみタイム② ○短なわを使った運動 7 はなしタイム ○自分の行っている動きをグループで伝え合う 8 整理運動 9 振り返り（クラス全体・個人） 10 片付け	4 やってみタイム① ○短なわを使った運動 5 みつけタイム ○全体に向けて、動きを紹介する。 6 やってみタイム② ○友達の動きを見て、取り入れる。 ○動きを工夫する。 8 整理運動 7 振り返り（クラス全体・個人） 9 片付け
評価の重点	知	① 学習カード		② 運動の様子
	思		① 学習カード	③ 学習カード
	主	① 運動の様子	③ 運動の様子	② 運動の様子

※太枠は「記録に残す評価」、その他は「指導に生かす評価」とする。

5 本時の活動計画（3/4）

（1）本時の目標

◎友達の良い動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えることができるようにする。

（表現）

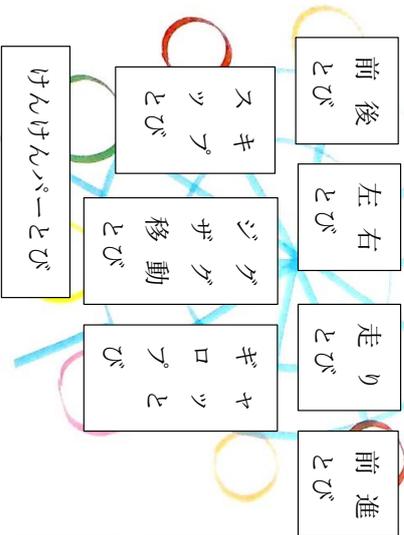
・互いの動きを見合ったり話し合ったりする際に、仲間の考えや取り組みを認めることができるようにする。（主体的に学習に取り組む態度）

・基本的な動きやそれらを組み合わせた動きができる。（運動）

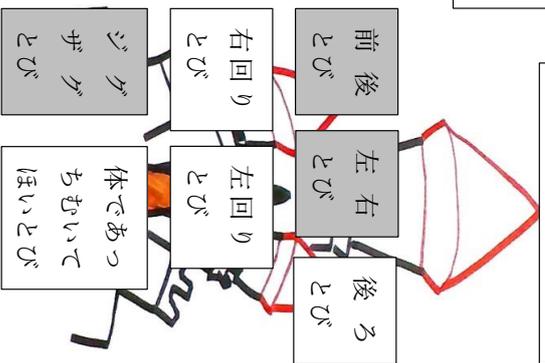
（2）本時の展開

○児童の主な学習活動 ・予想される児童の思いや考え	*教師の指導・支援 ☆評価規準（評価方法）【観点】
<p>○めあて、学習の流れの確認（4分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>㊦短なわを使ったいろいろな動きを伝えよう</p> </div> <p>○準備運動・用具の準備・補助運動（6分） 基本的な動きとなる「姿勢」「人数」「移動」「リズム」「方向」を意識した運動に取り組むことサーキット形式で行う。</p> <p>①短なわを使って、ペアでけんけん跳び・前跳び ②短なわでリズムを変えて跳ぶ ③ケンステップ渡り ④短なわを使って、方向を変えながら前跳び</p>	<p>*安全に仲良く運動することを確認する。</p> <p>*安全面を考慮して場の設定を行う。 *前時までに出てきた動きを振り返り、本時の学習に活かせるようにする。</p>
<p>【やってみタイム①】 6分</p> <p>○個人で取り組みたい運動に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具を操作する動きに取り組む。 ・基本的な動きを組み合わせる運動に取り組む。 <p>【みつけタイム】 4分</p> <p>○誰でもできそうな動きをしている児童を全体で見合う。</p> <p>C 跳んだ勢いで体を前に出すと、片足跳びをしながら、前に進むことができました。</p> <p>C 前跳びをしながら向きたい方向に顔を向けると、いろいろな方向に向けます。</p> <p>【やってみタイム②】 8分</p> <p>○見つけタイムを生かして、グループに伝えたい動きに取り組む。</p> <p>【はなしタイム】 10分</p> <p>○行っている運動をグループで伝え合い、取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけた動きとそのコツを伝える。 ・グループでやってみる。 	<p>*自分で見付けた動きに名前をつけて、友達に見付けた動きを伝えられるようにする。</p> <p>*【みつけタイム】では児童がやってみたいと感じるような、基本的な動きを組み合わせた動きをしている児童を意図的に取り上げる。</p> <p>*誰もが挑戦できるように、運動のこつを児童に聞き、全体に広める。</p> <p>*課題を解決できた児童には、動きを広げたり、動きの質を高めたりするように促す。</p> <p>*【はなしタイム】では、見付けた動きを伝えられるように、言葉と動きで伝えることができるようにする。</p> <p>☆友達の良い動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友達に伝えることができる。表（観察・ワークシート）</p>
<p>○整理運動（2分）</p> <p>○まとめ・振り返り（5分）</p> <p>C グループの友達が片足跳びで後ろに進む方法を教えてもらったので、次はそれに挑戦してみようと思います。</p> <p>C グループの友達がかけ足跳びでいろいろな方向に向く方法を教えてもらったので、次はそれに挑戦してみようと思います。</p> <p>○片付け（3分）</p>	<p>*友達の動きを見て、どんな動きがきでできるようになったか振り返ることができるように、全体で振り返り、その後、個人で学習カードにまとめる。</p> <p>*次回取り組みたい動きを学習カードに記入する。</p> <p>*協力して素早く片付けられるように声をかける。</p>

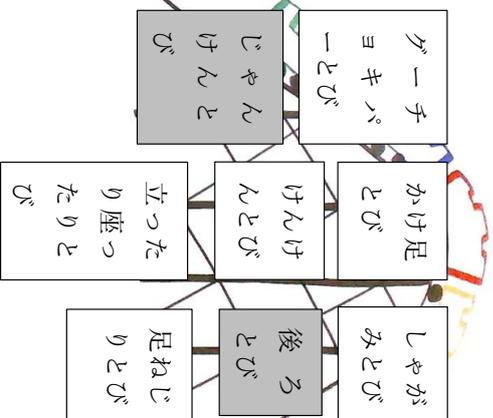
いせう・うーん



方向・うーん



しせう・うーん



取り上げなぐてもいゝ動き

<だれでもできないもの>

- ・二重とび
- ・はやぶさ
- ・測振とび
- など

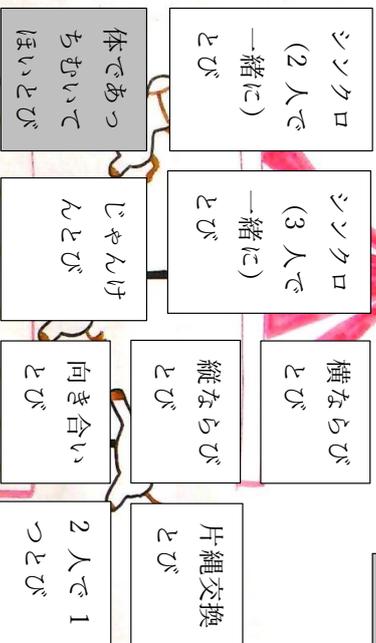
<安全・安心でないもの>

- ・縄をふりまわす
- ・縄を引つ張る
- ・おんぶして跳ぶ
- ・足の側面を地面につけて跳ぶ

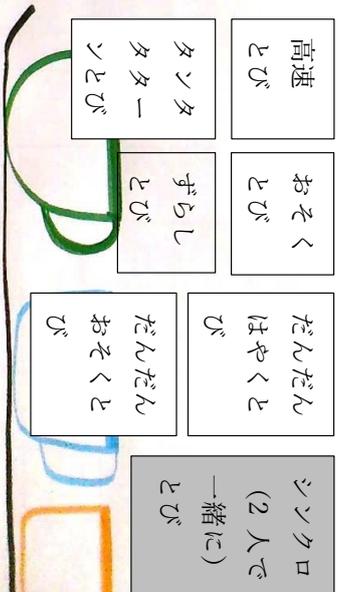
<短縄に適していないもの>

- ・長縄のように跳ぶ
- ・によるによる動かしして跳ぶ
- ・回すのが遅すぎて跳べていない

人数・うーん



リズム・うーん



☆色付きの動きは複数
の基本的な動きを組み
合わせた動きになって
います。

びよんびよんラソド

3年 組 番 ()

	1 時間目	2 時間目	3 時間目	4 時間目
日づけ	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()
今日の めあて	短なわを使ったいろいろな動きを やってみよう ----- 進んでなわとびを使った動きを見つ け、とぶことができた。 ◎ ○ △	短なわを使ったいろいろな動き を見つけよう ----- 進んでなわとびを使った動きを見つけ ることができた。 ◎ ○ △	短なわを使ったいろいろな動きを 伝えよう ----- なわとびを使った動きを伝えたり、友 達と取り組んだりすることができた。 ◎ ○ △	短なわを使ったいろいろな動きを 増やそう ----- なわとびを使った動きをふやすことが できた。 ◎ ○ △
見つけた	-----	-----	-----	-----
動きの名前	-----	-----	-----	-----
ふりかえり	-----	-----	-----	-----
<ul style="list-style-type: none"> •自分で考えて やってみた動き •友達の動きを見 てやってみた動 き 	-----	-----	-----	-----
次回取り組 みたい動き	-----	-----	-----	-----